



とよまねまこと
豊間根信議員
(政和会)

問 今後の町づくりと経済活性化策は

答 更なる交流人口拡大を進めていく

問 三陸沿岸道路の整備効果は道の駅やまだ「おいすた」や、産直ひるば「ふれあいパーク山田」を拠点とした「山田町まるごと道の駅構想」の実現に向けて取り組んでいくとの力強い宣言は、頼もしい限りであり大変期待している。北インターチェンジフル化を踏まえ、さらなる構想について問う。



交流人口拡大の鍵となるフル化へ、期待高まる北IIC

佐藤町長 山田北ICフル化に伴い、周辺地区への新たな企業立地に期待していることから、工業団地整備に係る基本計画の5年度内策定を目指し取り組んできた。三陸沿岸道路の整備効果を最大限に活用できるように、工業

団地整備計画と企業立地に向けた企業誘致活動を進めるとともに、「山田まるごと道の駅構想」の実現による更なる交流人口拡大など、町全体の経済活性化につながる取組を進めていく。

- ◆ 商工業の振興について
- ◆ 結婚子育て支援について
- ◆ 防災対策について
- ◆ 移住定住支援策実施について
- ◆ 行財政運営について
- ◆ 教育行政に関する所信について

その他の質問

問 まちづくり事業の成果は

答 利用促進に努めていく

問 住民主体の山田町民提案型まちづくり事業の内容と思いを形にするまちづくりへの実現、持続可能な活動と活性化を図る補助事業のこれまでの取組と成果について問う。

佐藤政策企画課長 事業は4年度に創設し、これまでの実績は、5

年度山田町土地改良区が実施した「荒川地区環境保全事業」の1件のみとなっている。事業の利用件数が少ないことを課題としてとらえており、今後町広報紙やホームページ等で広く周知を図り、利用の促進に努めていく。

問 住環境整備への更なる施策は

答 成果を踏まえ施策の追加検討する

問 住環境の整備について、住宅建築促進事業は町民の皆様から大変好評であり、様々なニーズに合わせた更なるバリエーションの追加施策について問う。

佐々木都市計画課長

6年度も引き続き、住宅の新築やリフォーム、エアコン設置を対象として進めていく。既存

住宅の断熱性能を高める改修工事を対象とした「住まいの省エネルギー改修推進事業」を新たに実施する予定、成果を踏まえながら今後の支援のあり方を更に検討していく。